

留 学 報 告 書

記入日:2013年10月14日



所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部		
留学先国	アメリカ		
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	オレゴン大学 University of Oregon		
留学期間	2012年9月～2013年7月		
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)		
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)		
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。		
帰国年月日	2013年7月10日		
明治大学卒業予定年	2015年3月		
留 学 先 大 学 について			
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他		
学年暦	1学期:9月下旬～12月上旬 2学期:1月上旬～3月下旬 3学期:4月上旬～6月中旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬,2学期:9月中旬～2月上旬)		
学生数	5421人(2012年度、学部生のみ)		
創立年	1876年		
留学費用項目	現地通貨(ドル)	円	備考
授業料	\$0	0円	協定校留学のため。体育の授業料は別途1つにつき60ドル
宿舍費	\$12,490	1,249,000円	
食費		円	寮費に含まれている
図書費		円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費	\$84	8,400円	留学前の予防接種
保険費	\$2,260	226,000円	明治大学保険(東京海上日動火災保険)と留学先大学の保険
渡航旅費	\$2,330	233,000円	全日空ロングステイ優待チケット
雑費		円	
その他		円	
合計		円	

渡航関連

渡航経路: 行き: 成田空港→サンフランシスコ→ユージーン(オレゴン)、帰り: ユージーン(オレゴン)→デンバー(コロラド)→成田空港

渡航費用

チケットの種類 全日空ロングステイ優待チケット

往路 _____

復路 _____

合計 _____ 往復で 25 万円程度

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

全日空、アメリカ国内は United Airline (ANA のコードシェア便)

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 1 人)

3) 住居を探した方法:

大学の案内パンフレット、オレゴン大学の HP サイト

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

大学内にあるキャンパスはダイニングもすぐ近くにあつてとても便利、授業を受ける教室や図書館もすぐに行ける、ルームメイトが居れば英語で会話もできる

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した: 大学内の診療所 (インフルエンザ予防注射、親知らずの診察)

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

実際に犯罪に巻き込まれることはなかったが、盗難の可能性は常に頭に入れておいた
パソコンや貴重品、自転車などの自分の持ち物の管理を入念にしていた

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

キャンパス内やその周りであればほぼどこでも WIFI が通っているのでインターネットは常に接続可能、大学の寮によっては回線が必要などところもあった

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地の us bank に口座を開設して日本から送金してもらった

買い物をするときはその銀行のデビットカードまたはキャッシュを使用、たまに日本から持ってきていたクレジットカードも併用していた

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるとのあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
39 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 22 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Foundations of East Asian Civilization	東アジア史
科目設置学部・研究科	History
履修期間	2012 Fall Term
単位数	4
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャーとディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 4 回
担当教授	Andrew Goble
授業内容	日本、中国、韓国の歴史をそれぞれ見ながら当時の国同士の交流を見る
試験・課題など	筆記試験は中間と期末の 2 回、ロングエッセイ 1 つ
感想を自由記入	今まで勉強したことがあった日本や中国の歴史を、日本人ではない第 3 者の観点から学べたことで、個人的にとっても新鮮味があった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Conflict Resolution: Conflict in Personal and Perfect Relationships	争議解決: 個人間における争いごととその解決策
科目設置学部・研究科	Conflict and Resolution
履修期間	2012 Fall Term
単位数	4
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	やや少人数のレクチャー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回
担当教授	Carly Brynelsen
授業内容	日々の生活における個人間の争いごとを分析しながら、それをどのようなプロセスで解決していくか
試験・課題など	週に 1 回、教科書のチャプター毎に小テスト、学期末にグループプレゼン
感想を自由記入	授業中にアメリカの学生がプライベートで抱えている様々な対人間の悩みをたくさん聞けたので、とても現実味を持ちながら勉強できた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Value Systems in Cross-Cultural Perspectives	文化的宗教的価値観
科目設置学部・研究科	International Studies
履修期間	2012 Fall Term
単位数	4
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャーとディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回
担当教授	Kathie Carpenter
授業内容	妊娠中絶や結婚制度などの倫理問題に対する文化的宗教的価値観や考え方の違い
試験・課題など	チャプター毎にショートエッセイ提出、学期末にエッセイとグループプレゼン
感想を自由記入	ライティングの量がとても多かったのが印象的。 文化や宗教によるものの見方の違いを見ながら自分の考えもまとめることができたのが、貴重な経験になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Gentle Hatha Yoga	ヨガ
科目設置学部・研究科	PE
履修期間	2012 Fall Term
単位数	1
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 2 回
担当教授	
授業内容	ヨガの基本的姿勢を習い、身体の健康を保つために実践
試験・課題など	エッセイか授業内容に関する日記のどちらかを選んで、学期末に提出
感想を自由記入	ヨガは初体験だったが、初心者でも十分ついていける内容で、この授業のおかげで姿勢がとても良くなった。

履修した授業科目名(大学言語):		履修留学先した授業科目名(日本語):	
International Conflict and Cooperation		国際紛争とその解決	
科目設置学部・研究科	International Studies		
履修期間	2013 Winter Term		
単位数	4		
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャーとディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回		
担当教授	Galen Martin		
授業内容	世界で起きた、また起きている戦争や紛争を学び、平和とは何か、どうやったらそれを実現できるかを考える		
試験・課題など	筆記試験が中間と期末の 2 回、ブッククイズが 1 回、ブックレポートが 2 枚、エッセイを 1 つ学期末に提出		
感想を自由記入	自分が今まで知らなかった地域の戦争について学ぶことができたのと同時に、平和追求活動についても知ることができたのが良かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Japanese Literature and Culture II: 1600-1950		日本の文学と文化 (1600年~1950年)	
科目設置学部・研究科	Japanese		
履修期間	2013 Winter Term		
単位数	4		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャーとディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 4 回		
担当教授	Alisa Freedman		
授業内容	日本の著名文学を英語で読み、当時の時代背景なども一緒に勉強する		
試験・課題など	授業内容に関する筆記テストが 3 回、プレゼンテーション		
感想を自由記入	初めて日本の文学を英語で読んで、読解の難しさを感じたけれど、同時に英語で日本の歴史を自分の今までの知識以上に詳しく学ぶことができたのが面白かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
What is Asia?		アジアとは?	
科目設置学部・研究科	Asian Studies		
履修期間	2013 Winter Term		
単位数	4		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	やや少人数のレクチャー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回		
担当教授	Daniel Buck		
授業内容	アジアを地理的、また文化的に見て構造を細かく見ていく		
試験・課題など	いくつもあるクラスリーディングの中から自分で 3 つ選びその内容についてペーパーを書く、筆記試験が中間と期末の 2 回		
感想を自由記入	先生が留学生にとっても手厚く対応してくれた。リーディングが多くて苦労したが、授業では馴染みのあるアジアの文化について学べたことが良かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Aerobics I		エアロビクス I	
科目設置学部・研究科	PE		
履修期間	2013 Winter Term		
単位数	1		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 2 回		
担当教授			
授業内容	曲に乗りながらダンスや筋トレ、縄跳びやランニングをして身体を動かす		
試験・課題など	自分の運動能力の経過を見るチェックテストが 2 回、自分の運動スケジュールに関するショートペーパーが 1 つ		
感想を自由記入	運動内容は結構楽で、様々なことをして適度に身体が動かせたので、勉強の合間に良い気分転換になった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
World Cultures		世界の文化	
科目設置学部・研究科	Anthropology		
履修期間	2013 Spring		
単位数	4		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャーとディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回		
担当教授	Ian Edwards		
授業内容	様々な民族を比較しながら人種とは何かを考えていく。主に南アメリカの原住民など普段の自分たちの生活スタイルとは異なる生活をしている人たちのことを勉強した。また、トランスジェンダーなど性についても考えた。		
試験・課題など	定期試験は中間と期末の2回、ブックレポートが1つ		
感想を自由記入	教科書で説明を読んだり言葉で聞いたりするだけではなく、各民族の生活状況や彼らの文化を映像でたくさん見ることができたのが分かりやすかった。英語で人類学の専門的な用語を覚えるのは割と大変だったけれど、定期テストはオンラインで教科書やノートを確認しながら受けて良かったので良心的だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
International Conflict		世界紛争、戦争	
科目設置学部・研究科	Conflict Resolution		
履修期間	2013 Spring		
単位数	4		
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	ディスカッションも交えながらの少人数レクチャー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 110 分が 2 回		
担当教授	Keith Eddins		
授業内容	第一次・二次世界大戦や冷戦など、過去の世界的な戦争の仕組みを歴史を学びながら細かく分析して、どのように国際紛争を解決したり防いでいくべきかを考える。また、アメリカと中国間など、将来の世界の国々の関係を現状から予測する。		
試験・課題など	定期試験は中間と期末の2回、学期末に個人プレゼンテーションがある		
感想を自由記入	今まで歴史は広く浅くしかやってこなかったので、この授業で当時の国々が求めていることや戦争の動機など、細かいところまで見て分析できたのが印象的。少人数だったため、教授と生徒が対話をしながらディスカッションしながら授業が進んでいって、他の生徒の意見や価値観を聞くことができたので面白かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Japanese Youth Culture: Explaining Disaster and Defining Nation		日本幼少文化: 人工・自然災害と日本のアイデンティティ	
科目設置学部・研究科	Japanese		
履修期間	2013 Spring		
単位数	4		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	少人数レクチャー、大学院生との合同クラス(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 170 分が 1 回		
担当教授	Alisa Freedman		
授業内容	日本に深く関係する震災や原爆をトピックに、子供たちに日本とはどのような国かを学術的観点から教える方法を考える。また、日本のポップカルチャーやユニークなキャラクターも分析して、なぜそれらが世界中でたくさんの人に愛されているのか、その魅力を考える。		
試験・課題など	授業に関するトピックで自分の意見を書くミニ課題が数回、学期末にロングエッセイが1つ		
感想を自由記入	日本にとっても興味がある現地学生が大勢いる中で、日本人よりも日本について知っている人も居て、自分の国のことなのに逆に教えてもらうことがたくさんあった。日本が好きな人がいっぱい居て、そんな日本の魅力について考えられたのが、留学先の授業ならではの貴重な経験だったと思う。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Core & Stretch		コア & ストレッチ	
科目設置学部・研究科	PE		
履修期間	2013 Spring		
単位数	1		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 2 回		
担当教授			
授業内容	毎回の授業で体幹やダンベル・ボール・ステップを使つての様々な種類の筋トレ、最後はストレッチ		
試験・課題など	自分の身体能力チェックテストが学期内に2回		
感想を自由記入	この授業で様々な筋トレを教えてもらったことによって、プライベートでやるエクササイズのパリエーションが増えた。適度に汗もかいたしちょうど良い運動になった。		

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2012年 1月～3月	協定校先への出願書類提出、TOEFL 関連書類提出
4月～7月	オレゴン大学からの入学許可証受け取り、留学準備に向けて先輩に話を聞く、留学のための奨学金申請、予防接種、ビザ申請、
8月～9月	留学準備(眼科、歯科、持ち物準備、銀行で両替とお金の準備、船便の荷物送る)、アメリカへ出発、留学生オリエンテーション、入寮、履修登録、Fall Term 開始
10月～12月	Winter Break でアメリカ国内旅行、クリスチャン&留学生コミュニティ(Global Friends)のキャンプに参加、ハロウィンパーティー、中間テストと期末テスト、寮2人部屋へ引っ越し
2013年 1月～3月	Winter Term 開始、Japanese Student Organization に参加、JSO イベント、中間テストと期末テスト、Spring Break で旅行
4月～7月	Spring Term 開始、誕生日をアメリカで迎えてお祝い、JSO ミーティングにほぼ毎週参加し日本に関する映画を観る、Global Friends のバイブルスタディに参加、中間テストと期末テスト、Summer Break で旅行、日本へ帰国、TOEIC テスト受験、帰国届提出
8月～9月	留学報告書提出、単位認定申請書類提出、アメリカから夏休みで友達が遊びに来る、明治大学の後期履修登録、後期授業開始、TOEIC テスト受験